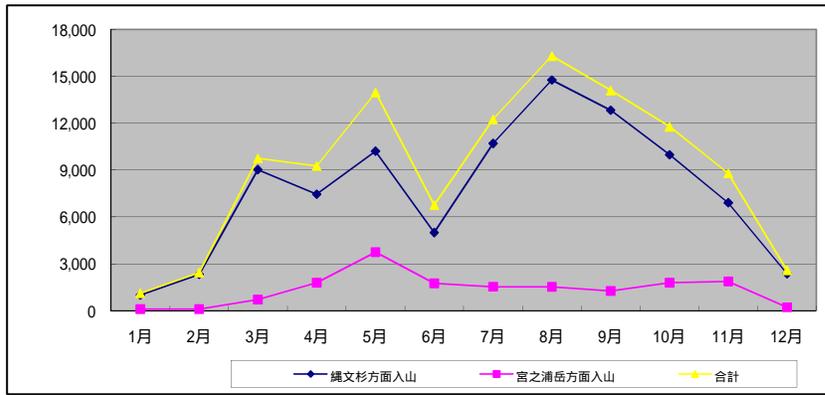


# 平成20年の屋久島主要山岳部の利用動向把握(カウンター)調査について

## 1. 平成20年利用動向データ(カウンターデータ)



平成20年(2008)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
縄文杉方面入山	1,004	2,330	9,034	7,461	10,214	5,006	10,706	14,765	12,829	9,980	6,913	2,367	92,609
宮之浦岳方面入山	116	109	715	1,798	3,750	1,759	1,541	1,533	1,267	1,800	1,876	226	16,490
合計	1,120	2,439	9,749	9,259	13,964	6,765	12,247	16,298	14,096	11,780	8,789	2,593	109,099
入島者数 (種子屋久観光連絡協議会調べ)	18,063	23,623	40,802	32,975	42,434	27,127	36,196	46,903	32,958	35,127	29,490	18,858	384,556
入島者数に対する 入山者の割合	6.2%	10.3%	23.9%	28.1%	32.9%	24.9%	33.8%	34.7%	42.8%	33.5%	29.8%	13.8%	28.4%

### <入山が集中した月>

- ・ 縄文杉方面入山で最も多かったのが、8月の14,765人。ついで9月の12,829人、7月の10,706人。
- ・ 宮之浦岳方面入山で最も多かったのが、5月の3,750人。ついで11月の1,876人、10月の1,800人。

### <入島者数に対する入山者数の割合が多い月>

- ・ 入島者数に対する入山者数の割合が最も多かったのが、9月の42.8%。ついで8月の34.7%、10月の33.5%。

### <年間データ欠測率(平成20年1月～12月(366日間))>

- ・ 縄文杉方面入山のデータ欠測率は0%(0日/366日)。
- ・ 宮之浦岳方面入山のデータ欠測率は0.8%(3日/366日)。

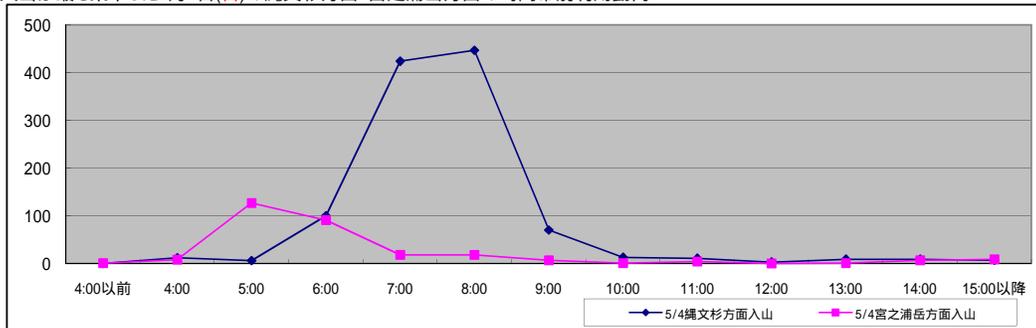
### <入山が集中した日上位10日>

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
縄文杉方面入山	月日	5/4(日)	10/12(日)	9/21(日)	7/20(日)	9/14(日)	3/21(金)	4/27(日)	8/11(月)	11/2(日)	8/14(木)
	人数	1111	879	809	767	731	679	653	644	625	623
宮之浦岳方面入山	月日	5/31(土)	5/4(日)	6/1(日)	6/6(金)	5/26(月)	5/3(土)	5/24(土)	5/27(火)	4/27(日)	5/30(金)
	人数	399	292	256	238	227	200	196	196	181	164

土日祝祭日は赤字表示。

- ・ 1年間で最も入山が集中したのは、縄文杉方面で5/4(日)の1111人。宮之浦岳方面では観光協会主催のシャクナゲ登山のイベント開催日である5/31(土)の399人(うちイベント参加者が220名)を除くと、5/4(日)の292人。

### <入山が最も集中した5月4日(日)の縄文杉方面・宮之浦岳方面の時間帯別利用動向>



	4:00以前	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00以降
5/4縄文杉方面入山	0	12	6	100	424	447	70	13	11	3	9	9	7
5/4宮之浦岳方面入山	1	8	127	91	18	18	7	1	4	0	1	7	9

各カウンターを通過した時間帯のデータ。縄文杉方面入山カウンターは荒川登山口入山から約1時間の所でカウント。

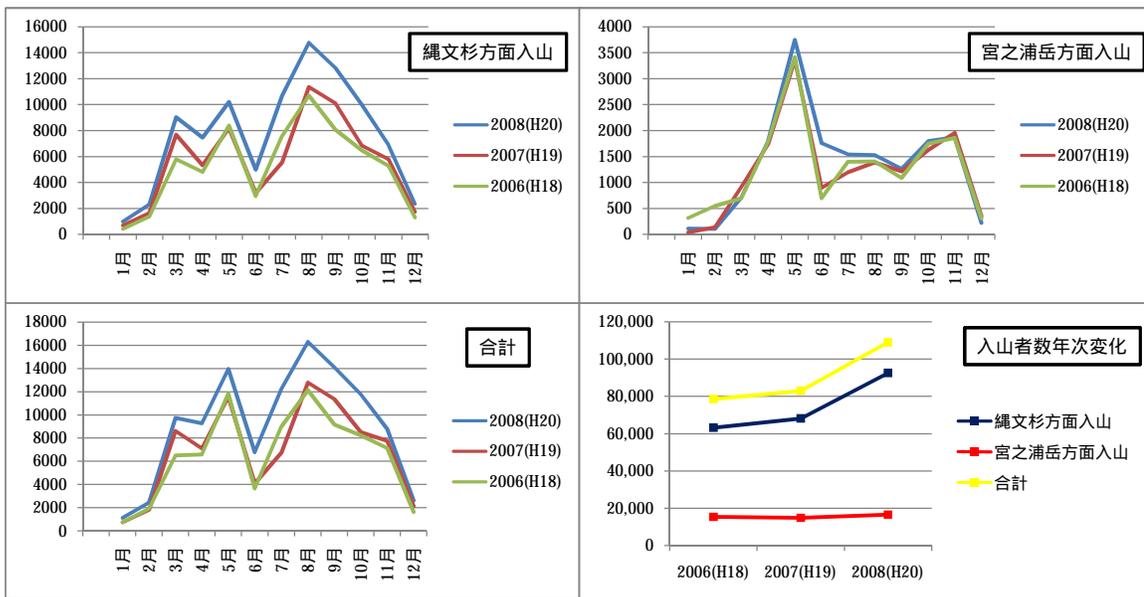
- ・ 入山者が最も集中した5/4(日)の利用動向は、縄文杉方面入山が7:00～9:00(=荒川登山口出発時間は6:00～8:00)に、宮之浦岳方面入山が(淀川登山口出発が)5:00～7:00に集中。

## 2. 平成18,19年との比較

### <入山者数>

縄文杉方面入山	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2008(H20)	1,004	2,330	9,034	7,461	10,214	5,006	10,706	14,765	12,829	9,980	6,913	2,367	92,609
2007(H19)	692	1,658	7,679	5,344	8,181	3,186	5,548	11,374	10,128	6,858	5,797	1,759	68,204
2006(H18)	430	1,392	5,804	4,810	8,396	2,952	7,580	10,707	8,079	6,480	5,283	1,324	63,237
宮之浦岳方面入山	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2008(H20)	116	109	715	1,798	3,750	1,759	1,541	1,533	1,267	1,800	1,876	226	16,490
2007(H19)	40	139	917	1,736	3,363	900	1,198	1,391	1,215	1,628	1,959	353	14,839
2006(H18)	318	547	697	1,785	3,418	698	1,399	1,408	1,088	1,752	1,860	311	15,281
合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2008(H20)	1,120	2,439	9,749	9,259	13,964	6,765	12,247	16,298	14,096	11,780	8,789	2,593	109,099
2007(H19)	732	1,797	8,596	7,080	11,544	4,086	6,746	12,765	11,343	8,486	7,756	2,112	83,043
2006(H18)	748	1,939	6,501	6,595	11,814	3,650	8,979	12,115	9,167	8,232	7,143	1,635	78,518

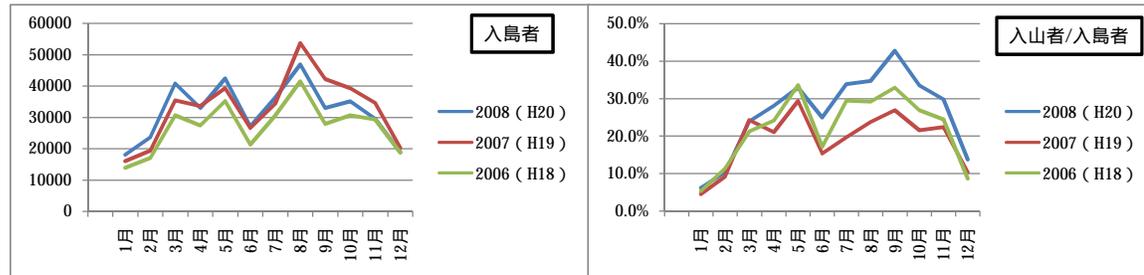
赤字の箇所はデータ欠測期間があり、補正を加えた推定値。



- ・縄文杉方面の利用動向に関して、入山傾向は過去2年とほぼ同じであったが、入山者数はGWのある5月、夏休み期間である7～9月に加え、3月・10月にも9,000人を超えるなど、全ての月で過去2年を上回り、平成19年からは約24,000人増加した（約36%増）。
- ・宮之浦岳方面の利用動向に関して、平成20年も入山傾向は過去2年とほぼ同じであったが、入山者数は平成19年から約1,600人増加した（約11%増）。平成20年は過去2年に比べて6月の入山者が多かったが、これは、6月に入山規制の判断となる気象警報が無かったことが影響していると考えられた。
- ・主要山岳部の利用動向は気象による直接的、また間接的(各交通機関の欠航等)影響を受けやすいが、平成20年は、特に利用動向の集中した5月(GW)と7～9月(夏休み)にほとんど警報が出ていなかったほか、年間を通して各交通機関の欠航便が少なかったことが入山者増加の一因となつたと考えられた。
- ・宮之浦岳方面の平成18年1～2月の欠測期間の推定値に関しては、現行カウンターより精度の劣る旧カウンター（平成17年以前に設置）の計測データを元に算出したが、平成18～20年を比較した結果、平成18年の1、2月の推定値がその他の年より2倍近く多く、入山者数を過大評価している可能性がある。
- ・縄文杉方面と宮之浦岳方面を合わせた利用動向に関して、入山傾向は過去2年とほぼ同じであったが、入山者数が全ての月で過去2年を上回り、平成19年からは約26,000人増加した（約31%増）。

< 入島者数 >

入島者数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2008(H20)	18,063	23,623	40,802	32,975	42,434	27,127	36,196	46,903	32,958	35,127	29,490	18,858	384,556
2007(H19)	16,059	19,432	35,402	33,638	39,323	26,585	34,285	53,690	42,193	39,299	34,616	20,270	394,792
2006(H18)	13,886	17,020	30,603	27,335	35,185	21,253	30,545	41,487	27,874	30,621	29,260	18,771	323,840
入山者/入島者	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2008(H20)	6.2%	10.3%	23.9%	28.1%	32.9%	24.9%	33.8%	34.7%	42.8%	33.5%	29.8%	13.8%	28.4%
2007(H19)	4.6%	9.2%	24.3%	21.0%	29.4%	15.4%	19.7%	23.8%	26.9%	21.6%	22.4%	10.4%	21.0%
2006(H18)	5.4%	11.4%	21.2%	24.1%	33.6%	17.2%	29.4%	29.2%	32.9%	26.9%	24.4%	8.7%	24.2%



- ・平成20年の入島者数は平成19年から約10,000人減少した。これは、島外に移動する交通機関が燃料油サーチャージによって値上げしたことにより、前年より島内在住利用者の比率が減つたためと考えられた。また、動向に関しては過去2年とほぼ同じ傾向が見られた。
- ・入島者数に対する入山者数の割合に関して、一年を通して過去2年とほぼ同じ動向が見られたが、平成20年は平成19年に比べて平均7.4%増加していた。

3. 参考データ

平成20年気象データ (気象庁屋久島測候所調べ)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	警報なし	警報なし	14日:A B	9日:A B 16日:A B 17日:A B	1日:A B 2日:A 10日:A B	警報なし	警報なし	20日:A B	18日:ABCD 30日:D	1日:D	警報なし	警報なし

A = 大雨警報、B = 洪水警報、C = 暴風警報、D = 波浪警報

・大雨警報の基準が山岳部県道の通行止めの基準と近いことも含め、各警報は入山者の登山目安となり、主要山岳部の利用動向に影響を与えたと考えられたため、警報を気象データに採用した。

平成20年各交通機関の就航率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
JAC	95.5%	99.1%	99.3%	96.7%	96.1%	88.0%	97.1%	97.7%	92.0%	95.5%	98.0%	100.0%
トッピー(宮之浦港発着)	94.6%	98.3%	94.6%	99.4%	100.0%	99.5%	100.0%	100.0%	96.5%	97.9%	100.0%	100.0%
トッピー(安房港発着)	95.2%	97.4%	95.0%	99.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.0%	97.7%	100.0%	100.0%
ロケット	91.8%	97.7%	93.5%	97.8%	96.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.6%	96.8%	100.0%	98.6%
フェリー-屋久島2	93.1%	89.7%	90.3%	86.7%	100.0%	93.3%	100.0%	100.0%	90.0%	93.5%	83.3%	96.8%
フェリー-ハイビスカス/屋久島丸	96.8%	93.1%	87.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	93.3%	96.6%	100.0%	100.0%

・種子島経由の鹿兒島-屋久島間運行船フェリー-ハイビスカスは12月21日まで運行。12月22日以降は鹿兒島-屋久島間直行便のフェリー-屋久島丸が運行。